岩手県立大学宮古短期大学部

みやたん かわらばん

2025年6月発行
No. 14 号

TOPIC 第1回 『総合三陸学』フィールドワーク in 陸前高田市

総合三陸学の一環として、宮古短期大学部２年生による「フィールドワーク」を陸前高田市で行いました。学生たちは、はじめに、東日本大震災によって被災し新設された「陸前高田市立博物館」（写真左側）を訪問し、陸前高田の成り立ちにも関連する自然や歴史、文化、さらに、陸前高田を襲った津波の歴史について学びました。次に、「道の駅高田松原」を訪問し、この地域の農産物や水産物、特産品にじかに触れる機会を得ました。最後に、「東日本大震災津波伝承館」（写真中央、右側）を訪問し、東日本大震災津波で実際に何が起こったのか、被災者の声や記録などを通じた命を守るための教訓、そして、自然災害に備えることへの重要性などについて学びを得ました。今回のフィールドワークを通じて、学生たちは、陸前高田という土地柄、そして、自然災害の教訓を体感でき、深い学びを得る貴重な機会となりました。(千)

教員コラム

宮古短期大学部　講師　千葉　洋平

今年４月より経営学分野を担当している千葉洋平です。私は、岩手県大船渡市に生まれ育ちました。そこから東京、海外へと飛び出し、民間セクターをはじめ、国際的な研究機関や国立の研究所など様々な分野で経験を積んできました。東日本大震災を「きっかけ」に、私自身が得た学びを生かし故郷に貢献したく、今年３月に岩手に戻りました。
現在、知りたい知識や情報が手に入りやすい時代です。その分、受動的になりやすく「知識」はあるが、それをどのように生かすのか分からないという方が多く見受けられます。
学生の皆さんが、能動的な「人生のオーナーシップ」を手に入れ、自身の中に潜在する力が目に見えて現れ、結果へとつながるよう、力になりたいと思います。
※人生のオーナーシップとは：自身の人生を自身で主体的に設計し責任をもって生きる姿勢

「宮古短期大学部の教員紹介」はこちら⇒

図書館だより

図書館ホームページ

第2回図書館企画「読んで☆ビンゴ」

開催期間：7/１(火)～８/８(金) どなたでも参加できます！

マスに書いてある分野の本を借りてスタンプをゲット！縦・横・斜めのいずれか１列揃ったらビンゴ！クリアした方には、プレゼントを用意しています。ぜひ挑戦してみてください。

図書館を利用してみませんか？

一般の方にも図書館を開放しています。見学のみでも構いませんので、一度来てみませんか？小説や資格検定のテキストも取り揃えています。
７月から隔週で土曜日も開館します。開館日等、最新の情報は、図書館公式 SNS やホームページをご覧ください。
【７月の土曜開館日】 7/5(土)・19(土)　９時～17 時

テラスで読書はいかがですか・・・

眺めの良いテラス席を設置しました。飲食可能ですので、天気の良い日は、のんびりテラスで読書や自習にご利用ください！(天候等により閉鎖する場合もあります。)

総合三陸学ノート

オンリーワンの探求科目「総合三陸学」第２回の授業の様子をお届けします。

第２回「三陸の海洋環境と気候変動」 ４月 25 日（金）
講師：東京大学大気海洋研究所　藤井　賢彦　先生

第２回は、海洋研究者の藤井さんを迎え、三陸の海洋環境と気候変動について学びました。やませや親潮に育まれた冷涼な海が、温暖化や黒潮の蛇行によって大きく変化することによる、魚種や海藻、貝類など多様な海洋生物への影響が紹介されました。さらに海洋酸性化の進行により、殻を持つ生物の成育困難や漁業・観光への懸念が示され、地域社会への影響の広がりが実感されました。海の変化を正しく知り、正しく対策することの大切さを実感する講義でした。(土)

－学生レポートから－
「三陸の豊かな海が変わっていく現実に驚きました。対策を考えるきっかけになりました。」
（２年）

7月開講日程

第9回
■日 時　7月 11 日(金)　13:00～14:30
■講 師　株式会社かまいし DMC
　　代表取締役　河東　英宜　さん
■テーマ「三陸の観光地域づくり」
お申込フォーム

第10回
■日 時　7月 11 日(金)　14:40～16:10
■講 師　みちのくトレイルクラブ
　　事務局長　相澤　久美　さん
■テーマ「三陸の地域資源を生かした復興まちづくり」
お申込フォーム

～宮古探索サークルよりお知らせ～

先輩から引継ぎ、新しいメンバーで活動を再開しました。アカウントが変更になりましたので、お知らせします。みなさんのいいね＆フォローをよろしくお願いします！

X　Instagram　Facebook　TikTok

地域情報 ほまれベーカリー

〒027-0097 宮古市崎山 7-5
TEL 090-6256-9123
営業時間等の詳細は、Instagram をご覧ください

宮古のソウルフードとして親しまれていた「西野屋」さんのパンが、突然姿を消したことに多くの方がショックを受けたことと思います。
『げんこつパン』や『フルーツパン」が復活する！という情報を受け、早速取材の依頼をすると、快く引き受けてくださったのは、店主の毛馬内(けまない)さん。西野屋さんで 19 年間パン作りをしていた職人さんです。
６月７日のオープン以来、大勢のお客さんが訪れ、整理券を配布するほどの大盛況。開店して 30 分で完売する日もあり、準備のため臨時休業を設けたそうです。しばらくは、メニューや個数を限定するそうですが、ずっと受け継がれて欲しい宮古の味です。(の)

発行：岩手県立大学宮古短期大学部事務局　〒027-0039 岩手県宮古市河南一丁目５番１号
TEL 0193-64-2230　FAX 0193-64-2234　URL http://www-myk.iwate-pu.ac.jp/